

平成30年度事業報告

平成30年度においては、

- ・ 日常生活で困難を抱える世帯に対する訪問や情報提供等による「生活支援事業」の実施
- ・ 生活不活発病予防や閉じこもり等孤立の防止のため、地域での「ふれあいいいききサロン」の開催
- ・ 住民相互の支え合いや地域コミュニティネットワークの構築等「生活支援体制整備事業」の実施
- ・ ボランティアセンターの設置運営により、支援や交流のため活動する様々なボランティアの受け入れ
- ・ 高齢者や障がい者等の見守りや社会参加活動の促進
- ・ 放課後児童の健全育成や遊び場づくりのため「放課後児童クラブ」の実施
- ・ 生活困窮者に対する相談支援の実施 等

を行ったほか、関係機関や団体との連携を図りながら、地域のニーズに対応したサービスの企画及び提供を行い、人と人が手を携えて助け合い、励まし合いながら、住み慣れた地域で安心して生活できる地域社会づくりを進めるための事業推進に努めた。

【実施事業の概要】

1 ボランティアセンターの設置・運営

(1) ボランティアの受入れや活動の状況

- ・ 活動総人数 84人、8団体（前年261人、20団体）※個人含む、延べ数
- ・ 主な活動内容 高台団地等での交流会、手芸作品作り、料理教室、小学生向けイベント運営 など

(2) ボランティア入門講座の開催

- ・ 開催回数 3回
- ・ 参加者数 延べ11人
- ・ 内容 ボランティアについての講話（ボランティアとは何か、活動の楽しさや心構えについて）、キャップハンディ体験

(3) ボランティア活動保険の助成（126人分）

2 生活支援事業【別紙1参照】

災害公営住宅等で生活する被災世帯や、日常生活の支援が必要な住民がいる世帯に対し、生活再建に必要な支援・相談・見守り体制を構築し、必要な福祉ニーズを把握することに努めた。

また、市町村行政や関係機関等との連絡会議を定期的で開催したほか、被災世帯等の再建を図るため生活支援相談員を3人配置し、要援護世帯や気になる世帯に対する定期的な訪問や情報提供と、住民支え合いマップの作成による課題抽出や解決の模索などを行った。

(1) 対象（見守り）世帯の状況（31. 3. 31現在）

ア 災害公営住宅 40世帯（うち65歳以上高齢世帯 32世帯）

※門前小路第1・第2、南浜高台、下安家高台、本町・旭町、新町

イ 再建世帯等 52世帯（うち65歳以上高齢世帯 47世帯）

ア～イ合計… 92世帯（うち65歳以上高齢世帯 79世帯）

(2) 支援実施回数※延べ件数

ア 訪問 767件(前年568件) ウ その他 247件(前年561件)

イ 電話 13件(前年 11件) ※来所、外出先での面接、サロン等

ア～ウ合計…1,027件(前年1,140件)

(3) 相談内容

ア 日常生活 23件(前年91件) オ 介護・就労 16件(前年 6件)

イ 健康・保健医療 36件(前年62件) カ 法律・制度 7件(前年15件)

ウ 家族 11件(前年43件) キ 地域活動 0件(前年--件)

エ 住居 5件(前年14件) ク その他 42件(前年22件)

ア～ク合計…140件(前年 289件)

(4) 交流促進活動等

ア サロン活動 12回、参加119人

イ 支え合いマップ活動 3地区、参加18人

ウ 災害公営住宅と地域の交流活動 15回、参加135人

エ その他支援活動 3回、19人

3 ふれあいいきいきサロン事業

関係機関や団体と連携しながら、地区公民館等でサロンを開催し、高齢者等の閉じこもりや孤独感の防止のほか、健康・生きがい作り等を行った。

◇地区サロン開催状況【別紙2参照】

・開催回数 22カ所、385回（前年21カ所、383回）

・参加者数 3,374人（前年3,529人）

・実施内容 茶話会、健康相談、料理・おやつ作り、体操、バスハイク、寄せ植え、軽スポーツ、創作活動など

4 地域福祉活動関係

(1) 第5回野田村ボランティアまつりの開催（村保健センター、延べ200人参加）

(2) 第12回野田村社会福祉大会の開催（村総合センター、150人参加）

(3) 社会福祉協力校の指定及び連携（野田小学校、野田中学校、久慈工業高校）

(4) 被災地コミュニティ支援員の配置（1人）

(5) 日常生活自立支援事業（あんしんねっと）の推進（利用者2人、生活支援員2人）

(6) 生活困窮者自立支援制度（生活あんしん相談室）との連携

(7) 野田村地域福祉活動計画の推進（平成29年3月策定、29年度から33年度までの5カ年計画）

5 高齢者福祉活動関係

(1) 在宅福祉事業の推進【別紙3参照】

ア 紙おむつ券給付 延べ287枚（前年281枚）

イ 車いす貸出 22件（前年31件）

ウ 配食サービス(のんちゃん弁当) 月2回、延べ2,121食(前年2,030食)

エ 見守り通報事業 利用者数11人(前年11人)

※青森県社協(福祉安心電話)との連携

(2) 男子ごはん塾の開催 年4回、延べ28人(前年16人)

(3) 生活支援コーディネーター(1人)の配置【別紙4参照】

ア 生活支援協議体会議や地域ケア会議等、研修会への出席(全67回)

イ 65歳以上世帯への日常生活調査の実施及び対象世帯への訪問(34世帯)

ウ 地域資源一覧の作成および配布

エ いきいき百歳体操の実施(23回)

オ 地域支え合いづくりについて講話等(6地区)

カ 地域課題の把握及び対応等(相談16件、情報共有22回) など

6 障がい(児)者福祉活動関係

(1) 障がい者交流会や結いっこフェスタ等への協力

(2) 障がい者の社会参加や自立支援のための援助、情報提供

7 母子・父子・寡婦福祉活動関係

(1) 母子・父子・寡婦世帯の支援等に関する調査

(2) 母子父子寡婦福祉資金等に関する情報提供

8 児童福祉活動関係

(1) 玉川児童館の指定管理受託

(2) 放課後児童健全育成事業(児童クラブ)の実施【別紙4参照】

ア 場所 玉川児童館(玉川児童クラブ)、総合センター(城内地区児童クラブ)

イ 体制 児童支援員4人(玉川2人、城内地区2人)

ウ 実施日数、時間

玉川 294日、1,694時間、城内 294日、1,727時間

エ 児童等の年間利用人数

・玉川(登録11人)1,131人、1日平均 3.8人(前年 3.5人)

・城内(登録50人)3,644人、1日平均 12.4人(前年16.7人)

(3) 野田キッズセンター事業との連携(登録者の参加、施設利用等) など

9 要援護世帯等福祉活動関係

(1) 要援護世帯等に関する調査(生活支援相談員と民生児童委員協議会等との連携)

(2) 低所得世帯等への更生援助活動(生活あんしん相談室との連携や、生活福祉資金・たすけあい資金の貸付及び償還に関する相談等)の実施(生活福祉資金相談員1人配置)

ア 貸付件数 26件(償還中含む)

イ 相談対応件数 16件

(3) 心配ごと相談所の開設【別紙3参照】

ア 開設日数48日

イ 相談件数15件

10 福祉関係団体支援活動

- (1) 岩手県共同募金会野田村共同募金委員会事務の受託、実施
- (2) 野田村民生児童委員協議会事務の受託、事業運営への協力
- (3) 野田村老人クラブ連合会事務の受託、事業運営への協力
- (4) 野田村身体障害者協議会事務の受託、事業運営への協力
- (5) 野田村母子寡婦福祉協会事務の受託、事業運営への協力

11 企画・調査、広報活動関係

- (1) 野田村民生児童委員協議会等との連携を図りながら、要援護者等の情報収集、事業企画に努めた
- (2) 広報紙の発行のほか、ホームページやブログの開設等によるボランティア情報や実施事業等の情報発信を行った

12 その他の福祉活動（連絡調整等）

- (1) 共同募金運動への協力
- (2) 地域支え合い活動助成（歳末助成）の実施（16団体、助成総額645,000円）
- (3) 久慈地区広域社協連絡協議会との連携による広域的活動への参加
- (4) 各種福祉大会への参加
- (5) その他関係機関、団体との連携、連絡会議（地域ケア会議、生活支援事業連携会議、復興支援連絡会議、生活支援協議体会議、生活困窮者自立支援調整会議など）

13 会務の運営

(1) 理事会の開催

第1回 平成30年5月24日 理事6人、監事2人
(29事業報告、29決算等)

第2回 平成30年12月25日 理事7人、監事0人
(30第1次補正予算、30歳末たすけあい配分助成)

第3回 平成31年3月19日 理事6人、監事2人
(30第2次補正予算、31事業計画、31予算等)

(2) 評議員会の開催

第1回 平成30年6月7日 評議員6人、会長、監事1人
(29事業報告、29決算)

第2回 平成31年3月26日 評議員8人、会長
(30第2次補正予算、31事業計画、31予算)

(3) 監事会(定期監査)の開催

第1回 平成30年5月8日 監事2人(決算監査)

第2回 平成30年7月25日 監事2人

第3回 平成31年1月28日 監事2人